

Webメディア Journal ONE のご案内

Journal
ONE

2022年度
上期版



株式会社シェアール東海エージェンシー



Webメディア Journal ONE

創設にあたって

ここ数年「地域創生」の下、様々な"人々のふれあい"によって、日本の新しい活力が産み出されてきました。

観光需要の高まりや世界的なスポーツイベントが続き、日本人は勿論、外国人旅行者による人の行き来は年々増加し、地域が元気になる期待に溢れていました。

特に「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けては、日本の各地域に多種多様に存在する豊かな文化を、世界中に紹介できる好機と大きく期待されてました。

しかし、コロナ禍により世界中で往来が制限され、人と人が繋がるのが難しくなっていました。

そこで、私達は**"人々のふれあい"により発見した"我が街の魅力"を世界中の人々と共有するメディア「Journal-ONE」**をリリースすることにしました。

それぞれの地域と縁のあるスポーツやアスリート、街の魅力に惹かれた著名人や外国人などが、地元の人々との触れ合いを通じて感じた"我が街の魅力"を記事と写真で余すところなく紹介。

日本人は勿論、世界中の人々とも共有することで、新しい交流の形を創ることを目指します。

Withコロナでの「新しい日本と世界の繋がり」を日本中の皆さまと一緒に創れば幸いです。

Journal ONE
編集部



Webメディア JournalONE の特長

1. **レポーター**が実際に現地を訪問！
丁寧な取材と厚みある記事を執筆します。
→ レポーターは、**アスリート**や**モデル**などを多彩にご用意
→ **外国人**による、日本人では気付かない魅力の創出も可能
→ 現地の方との"ふれあい"を通じた温かい記事
2. 日本語は勿論、**多言語配信も可能**
→ 日本国内への魅力発信だけでなく、
海外への発信、国際交流、訪日観光客誘致に向けた
取り組み等にも活用
3. **Instagramを併用**し、クロスメディアで紹介
→ 東京2020でイタリア代表選手との交流を実現
→ 278万人にリーチしたSNSで交流を加速
3. 人気の**リアル媒体とも併用**した展開も可能
→ 東京駅、名古屋駅などの**デジタルサイネージ**、**駅イベント**
→ 東海道・山陽新幹線のグリーン車や書店で買える
ビジネス情報誌「Wedge」などの雑誌媒体



【左】日本語版 Webサイト
<https://journal-one.net/jp/>



【中央】英語版 Webサイト
<https://journal-one.net/>



【右】Instagram
https://www.instagram.com/journalone_official/



私たちに出来ること その1 :

- 💡 TOKYO2020 で実施した、**オリンピックと地域の人たちとの交流**企画を成功！
～内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局様
→ イタリア代表選手、サウジアラビア代表選手とホストタウンの人たちが、
Instagram、Facebook、YouTube等のSNSや、駅のデジタルサイネージを使って交流

- 💡 **一般財団法人 日本スポーツ政策推進機構**※の賛助会員に！
※ 自民党スポーツ立国調査会の遠藤利明会長が理事長を務められています。
スポーツ基本法の理念の実現に向け、スポーツ政策情報を共有したり、大規模国際大会のレガシー展開事業を推進する組織です。
日本オリンピック委員会（JOC）、日本パラリンピック委員会（JPC）を始め、中央競技団体や都道府県スポーツ協会23団体が会員です。

- 💡 **JR東海やJRグループの観光キャンペーン**で培った、**観光プロモーション力**を活かします！
→ スポーツ庁が推進する「**オリパラ・レガシー！ スポーツ×地域創生、まちづくり**」
観光庁が推進する「**スポーツツーリズム**」に賛同しています。
→ **全国の自治体様や、旅行会社様、観光施設事業者様と連携**できる強みを活かし、
スポーツと観光・地場産品をコーディネートし、国内外に地域の新たな価値を創ります。



- 1) 地域開催のスポーツイベント（大会）情報をいち早くキャッチ！
- 2) スポーツ団体・関連企業と連携し、**イベント（大会）を厚みある情報で拡散！**
- 3) 自治体様のご協力で、**観光・産業・教育・文化などの認知と消費拡大策に結合！**

スポーツと地域創生

【記事A】 地域で開催される**スポーツイベント**を密着取材!

- "結果のみの報道"では無く、主催者側(目的や意義)・アスリート側(感想)・地元の人たちの視点を取り入れた、**"人の繋がりが築くイベントの感動"**を伝えます。
- **世界大会、国内大会**は勿論、**体験や交流を目的とした地域イベント**も取材します。
※**体験・交流イベントの企画・運営も可能**です!!

【記事B】 スポーツイベントで招請した**アスリート**が、**地域の観光の魅力**を体験取材!

- イベント前後の日程で、アスリートが地域の人たちとの交流を楽しみながら**"人の繋がりで見つけた地域の魅力"**を伝えます。
- アスリートや競技に興味のある閲覧者に、**観光地への来訪**を訴えます。
- 企業スポーツとの連携で、**観光地ファンとスポーツファンの融合**を高めます。

岡山県矢掛町様の事例：イタリアとのサッカー交流 × 宿場町観光の魅力発信



スポーツ好き×旅行好き×地域の人々×外国人とリーチ層が一気に拡大!

私たちに出来ること その2 :

💡 JR東海やJRグループの観光キャンペーンで培った、**観光プロモーション力**を活かします！

- JR東海の「**そうだ 京都、行こう。**」キャンペーンを始め、様々なプロモーションを手掛けてきた実績を活かし、**テーマ性のある"地域の魅力"**を発信します。
- 全国の自治体様や、旅行会社様、観光施設事業者様と連携できる強みを活かし、**実際の来訪に繋がる観光・消費ルート**で"地域の魅力"を発信します。

💡 **各省庁様、自治体様との多くの連携**実績を活かし、施策に沿った展開をご提案します！

- スポーツ立国、スポーツツーリズムは勿論、**自然・文化・産業や、教育・国際交流**など様々な主幹部様とのお取り引き実績を活かし、施策に沿った企画を提案します。
- **地域の企業様との親交**も深め、地域一帯となったプロモーションを展開します。



1993年から続く、JR東海の観光キャンペーン。
紅葉、桜の季節を中心に、TVCMやポスターで観光需要を喚起してきましたが、「新たな観光の目玉を」と言う地元の声に応え、様々な"イチ推し"を提案。
現在では、初夏の"青紅葉"が定番の観光メニューとして定着。

【当初】紅葉と桜を全面に展開



【現在】様々な季節とテーマで"推し"を創出



初夏の"青紅葉"が新たな観光の目玉に成長



訪日外国人にウケるテーマも抽出中



- 1) 地域の魅力を、**他地域の成功例**や**違った目線**（外国人やタレントなど）で研究！
- 2) **自治体様の施策と連携**し、**HPへのコンテンツ提供**や**SNS連動策**なども提案！
- 3) 観光団体様、施設様と一体となった、**受け入れ側も楽しむ体制**を構築！

“イチ推し” テーマ探しと地域創生

【記事A】地域の“イチ推し”テーマを徹底的に取材!

- 簡単な紹介に留まらず、根差した歴史や文化などの背景まで確りと取材します。
地域の人たちに教えて頂くことで、“人の繋がりで深まる興味と関心”を伝えます。
※外国人目線で、地域の魅力を発見するコンテンツが人気です!!
- 体験、見学は勿論、**名人（第一人者、権威者）への密着取材で希少性を表現**します。
※**体験・見学ツアーの企画・販売支援も可能**です!!

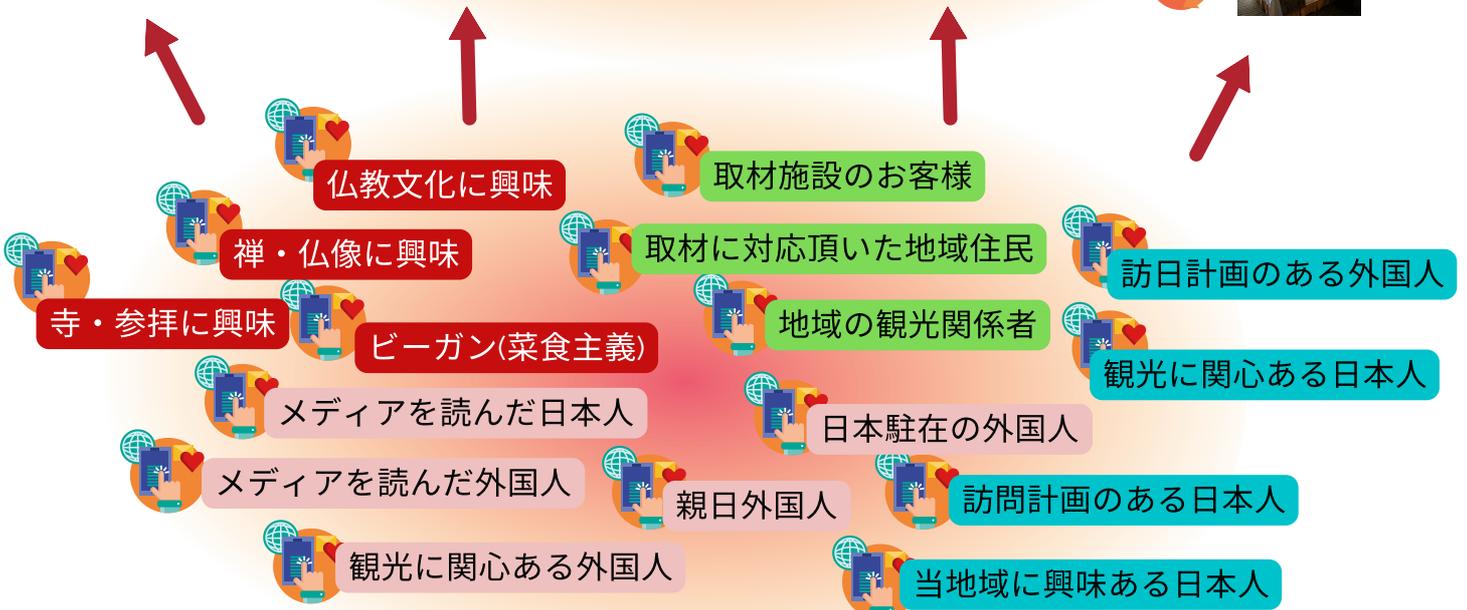
【記事B】記者が、“イチ推し”を含む地域の観光を一通り体験取材!

- 記者が、地域の人たちとの交流を楽しみながら、誰でも1日（若しくは1泊2日）で**体験できるモデルコース**を創ります。
- 本テーマに興味ある記者を派遣することで、**熱の入った取材記事で楽しさ**を訴えます。

和歌山県高野山様の事例： 聖地高野山の仏教文化 × スピリチュアルな旅

【記事A】“イチ推し”テーマ

【記事B】平易なモデルコース



テーマの深掘りで観光地を差別化し、旅行興味関心層を来訪へ繋げる!



～できることいろいろ～
広告メニューのご案内

Journal
ONE

[Menu]

【1】 タイアップ記事制作

【2】 お客様のHPコンテンツ企画・制作

【3】 Instagramファン・フォロワーとの交流企画・制作

お申し込み・お問い合わせは・・・

<Journal-ONE編集部>

journalone.staff@gmail.com

その他、ご相談・ご不明点などございましたら
弊社営業担当までお問い合わせください。

 株式会社シェアール東海エージェンシー



【1】タイアップ記事制作

- **ご希望のテーマ、取材場所**などを入念に打ち合わせ！
読み応えある物語をご提案します。



- 記者、カメラマン、ディレクターが実際に現地を取材！
現地の方へのインタビューを含め**1日掛けて取材**します。

※ Web上の情報のみの転記、電話のみの取材、レンタルポジの使用は致しません

- **2,000字相当の記事2種類**を制作・配信！
追加オプションで、**外国語版**も配信できます。



※ 外国語のみの配信も承ります

※ 外国語は、英語・繁体字中文・イタリア語の他も承ります

- 制作した記事は、本誌記事同様に**未来永劫サイトに掲載**！
年度を跨いだ「**シリーズ化**」企画や、過去記事の「**リバイス**」など効率的に
コンテンツを活用できます。

 **今までに無い宣伝手法!**

- 記事内に**バナー (1箇所)** をご用意！
貴社HP、SNSなど、記事読者をスムーズにサービス案内へ誘引します。

お値段： 120万円（税別）

2,000字相当の記事を2種類

1言語制作

※ 日・英2言語の場合、150万円（税別）で制作します

バナーサイズは300×250 jpg. と、Googleで最も一般的な様式と同じです。

和歌山県様のご制作事例

読み応えある文字量と、臨場感ある豊富な写真数

Every year Koyasan in Wakayama prefecture welcomes travellers and pilgrims from all over. It's a popular travel destination for its natural beauty and rich history, and a famous pilgrimage spot as the centre of Koya Shingon (esoteric) Buddhism in Japan. I had the ultimate Koyasan experience – a temple stay at Ekoin, a Buddhist temple with 1200 years of history.

Introducing Koyasan

Koyasan, a holy site with a history opened by founding father Kobo Daishi. As explained to me by monk Norihiro of Sohonzan Kongobuji Temple, Kobo Daishi sought a place to build a Buddhist complex after finishing his studies in China. He threw a *sanko* (Buddhist ceremonial tool) from the shore and went to seek its landing place. Back in Japan, he travelled through mountains and met two dogs (the messengers of the gods), who led him to a serene, flat, mountain-surrounded land where he found his sanko. He opened the fundamental dojo of Shingon esoteric Buddhism was here, and it became Koyasan. This history depicted on beautifully painted screens can be found at Kongobuji Temple. It's believed Kobo Daishi still resides in a meditative state in a mausoleum at Okunoin, Japan's largest cemetery, the main attraction of Koyasan. During the Okunoin Cemetery Night Tour, former head steward of the temple and resident guide to Koyasan Nobuhiro Tamura told me monks still bring two meals to the mausoleum every day. The cemetery, 2 kilometres long, houses over 200,000 tombstones, many of them formed by five large stones representing the elements from the bottom up: earth, water, fire, wind, space and a sixth – consciousness, a formless representation. Many pilgrims wish to be buried here near Kobo Daishi. There are tombs of war lords, famous figures and even the Imperial family. Wandering the serene cemetery is a spiritual practice in itself that helps quieten the mind.

Temple Stay at Ekoin

The best way to experience Buddhist culture in Koyasan is a temple stay (*shukubo*). Recommended to me was English-friendly Ekoin temple close to Okunoin, with its abundance of guest experiences including: *ajikan* meditation, morning religious service, *goma* prayer and sutra writing. At Ekoin, the *goma* prayer service is conducted every day, and they allow photos too.

Not a hotel, a temple stay is an ascetic practice run by monks. The rooms are clean and comfortable with shared bathroom facilities (Although Ekoin does have some Superior Rooms with private bathrooms available). The dinner and lunch provided is shojin ryori – delicious monastic Buddhist vegetarian meals made with seasonal vegetables and Koyasan speciality: *goma*-dofu.

Ajikan Meditation

My first ritual experience at Ekoin was *ajikan* meditation from 16:30 pm, conducted in English by monk Norihiro Miyama in a beautifully decorated, peaceful worship hall. It was a new type of meditation for me, keeping the eyes slightly open (like Buddhist statues), the hands together and lightly touching. Nori-san explained the purpose of *ajikan* meditation is to connect with the universe. He said it's normal for thoughts to come and go: just imagine each thought like a pebble in a garden. When focusing on one pebble, the pebble seems important, but in a whole garden, the one pebble becomes insignificant. It's the same with our thoughts. Nori-san's experience of spiritual practices worldwide (like his time doing Vipassana silent meditation in India) shows in his extensive knowledge! I can't wait to continue this enlightening meditation at home.

Morning Religious Service

From 6:30 am, guests may join the morning service, it's a ritual of self-purification through making offerings and worshipping one's ancestors. Guest can purify the mind and body by bringing incense to the forehead and placing it down on the incense burner. The sacred space transported me to another realm, the mantra sung by the monks accompanied by cymbals reverberated through my body and I came out feeling invigorated and renewed.

Goma Prayer Ritual

From 7 am is the *goma* ritual of consecrated fire, unique to Vajrayana and esoteric Buddhism. Chanting accompanied by taiko drums fill the room as Chief Priest Sesshu Kondo feeds the fire with herbs, oil and wood. The fire represents the wisdom of the Buddha, and the wood sticks (left in the room of guests to write their wishes) symbolise human desires – the root of suffering. These are burned as we make our wishes. The rhythmic drumming and dancing fire was mesmerising, and I entered a trance-like state. It was truly inspiring!

Buddhist Culture in Koyasan

Koyasan is an essential stop for anyone interested in Buddhism or spirituality. Many people say you wake up changed in Koyasan, and I can see why!

Other Koyasan Sites

No spiritual trip to Koyasan is complete without visiting Kongobuji Temple, the Koyasan esoteric Buddhism's head temple with the aforementioned Fusuma painted pagoda in the Danjo Garan complex, which was first opened by Kobo-Daishi as a Buddhist temple.

欧米で好まれる記事量!!

Instagram 映えする写真!!



【1-オプション】スピナウト記事制作

- **タイアップ記事のテーマ、取材場所を更に深く記事に！**
SEOで有効な、関連記事を**低価格で拡充**できます。



- 本記事との強いリンクで、**読者の回遊性を高めます！**
本記事と同様、現地の方へのインタビュー、臨場感ある写真を掲載します。

※取材後、配信後の追加受注も承ります

- **1,000字相当の記事1種類**を制作・配信！
追加オプションで、**外国語版**も配信できます。



※外国語のみの配信も承ります

※外国語は、英語・繁体字中文・イタリア語の他も承ります

- 制作した記事は、本誌記事同様に**未来永劫サイトに掲載！**
年度を跨いだ「**シリーズ化**」企画や、過去記事の「**リバイス**」など効率的にコンテンツを活用できます。

- 記事内に**バナー（1箇所）**をご用意！
貴社HP、SNSなど、記事読者をスムーズにサービス案内へ誘引します。

お値段： 30万円（税別）

💡 2種類目の記事以降は、20万円（税別）

1,000字相当の記事を1種類

1言語制作 ※日・英2言語の場合、40万円（税別）で制作します

バナーサイズは300×250 jpg. と、Googleで最も一般的な様式と同じです。

三重県様のご制作事例

[左] NINJA記事に登場した、服部忍者の末裔が営む和菓子屋さんを深掘り！
→ 観光施設様をフィーチャリングし、和菓子好きの閲覧者を誘引

[右] 伝統工芸「伊賀組紐」の職人を取材し、地場産業を深掘り！
→ 伝統文化は勿論、アニメ映画のキーアイテムとしてアニメ好きにリーチ



観光スポット、お土産品など、記事で気になる情報を確り補完！
→ 観光施設、お土産、お菓子、城など横串キーワードで検索も簡単



【2】お客様のHPコンテンツ企画・制作

- Journal-ONE編集部の企画で、お客様のサイトやSNSのコンテンツを制作！
特集記事やコラムなど、お客様の豊かなコンテンツ創りをご提案します。
 - 制作したコンテンツと連動した Journal-ONE 記事を配信！
オウンドメディアのネタが、Webメディアで同時に配信することが可能です。
- ※ Web上の情報のみの転記、電話のみの取材、レンタルポジの使用は致しません

[Image]

お客様Webサイト



お客様のファン

お客様のサービスのファン



← 編集部が企画・制作
同じネタを配信 →

◀▶ バナー、紹介により
閲覧者を強く誘引 ▶◀

💡 **今までに無い宣伝手法!**

Journal-ONE



メディア記事の閲覧者

メディア情報の嗜好者

お値段： 100万円～（税別）

ご予算に応じて、制作するコンテンツの内容や量のご相談に応じます。

※ 通常、コンテンツ制作で掛かるお値段と遜色の無い範囲で実施します
ホームページ等のデジタル素材は勿論、チラシやパンフレットの制作も可能です

※ 通常、紙媒体制作で掛かるお値段と遜色の無い範囲で実施します

【3】 Instagramファン・フォロワーとの交流企画・制作

- お客様のInstagram、Journal-ONEのInstagramのどちらでもできる！
ファン・フォロワーとの交流企画を提案します。

内閣官房 オリパラ事務局様のご制作事例

ホストタウン4市町の市民とイタリア代表選手の交流



お値段： 要ご相談

- Instagramに有効な、動画制作も制作します！
同じ素材を使い、東京駅や名古屋駅などのデジタルサイネージで掲載できます。

内閣官房様（左）、三重県様（中）、岡山県矢掛町様（右）のご制作事例



お値段： 15万円（税別）

15秒 1種類

※ デジタルサイネージの掲載料は別途となります

